

5-3. 機能集積「北海道・札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積」

機能集積の視点『北海道・札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積』を実現するため、①～⑥の整備方針を定めます。

①にぎわい・交流機能の導入

- にぎわいを創出し、連続感を生み出すために両街区の低層部に商業施設を導入します。
- 多様な交流を生み出し質の高い時間消費を支えるエンターテインメント機能等の導入を検討します。
- 導入機能の集積にあたっては、都心全体の需要の見通しを踏まえるとともに、商業施設の集積のバランスを十分考慮します。



商業施設のイメージ



エンターテインメント機能のイメージ①



エンターテインメント機能のイメージ②

②宿泊機能の導入

- ビジネス面および観光面での北海道・札幌の国際競争力をけん引する、国際水準のホテルを導入します。



国際水準のホテルのラウンジイメージ



国際水準のホテルの客室イメージ

③オフィス機能の導入

- 道外からの本社機能やバックアップオフィスを誘導する、高い耐震性や自立電源等による業務継続性を備え、省エネ対策等による環境負荷低減に配慮した高機能オフィスを導入します。
- 多様な働き方に対応し、それらをサポートするビジネス環境の導入を検討します。
- 経済の活性化に資する起業を支援し、起業初期の活動をサポートする機能の導入を検討します。

④交通施設利用者に対応した待合空間との連携

- バス等の交通機関利用者のための待合空間とにぎわい・交流機能が連携して、交通施設利用者の利便性向上を図ります。



待合空間とにぎわい・交流機能の連携のイメージ
JR東京駅（東京都千代田区）



利便性の高い待合空間のイメージ
バスタ新宿（東京都新宿区）

⑤観光・産業振興機能等の導入

- 増加する国内外からの観光客に対応するため、札幌はもとより北海道やさっぽろ圏※の観光情報を提供する観光案内機能を導入します。
- 札幌はもとより北海道やさっぽろ圏の多彩な魅力を国内外の観光・ビジネス客に紹介することで、ビジネスチャンスを創出し、産業振興につなげるシティギャラリー等の導入を検討します。
- 来街者のまち歩きを支える託児所、コンシェルジュ、荷物預かり等の機能の導入を検討します。

※さっぽろ圏：札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町で構成する「さっぽろ連携中枢都市圏」のこと



観光案内機能のイメージ
東京観光情報センター（東京都新宿区）



シティギャラリーのイメージ

⑥附置義務駐車場等の整備

- 店舗等の駐車場、自転車駐車場、オフィスやホテル等の車寄せ、荷捌き施設については、各施設の需要及び附置義務台数等を考慮し、敷地外を含めて必要な規模を適切に整備します。